

三重県桑名市における森林環境譲与税の活用について

■活用状況（全体像）

区分	令和元年度～ 令和5年度	令和6年度	計	令和6年度末 時点の活用率	未執行額の活用方針
活用額（円）	35,564,000	36,078,000	71,642,000	74%	森林経営管理制度に 基づく森林整備の実施
譲与額（円）	73,822,000	21,734,000	95,556,000		

■令和6年度の具体的な活用状況

区分	事業区分	事業費（円）		事業内容
			うち 森林環境譲与税	
普及啓発	木材・普及啓発関係	12,358,910	6,500,000	市内の放置竹林を整備してタケノコの生産量を増やし、同時に伐採した竹そのものを資源に変えるべく新たな循環システムを構築する。
森林整備	専門員の雇用	912,000	912,000	森林・林業分野に精通した地域林政アドバイザーと委託契約を締結し、森林整備の円滑な実施を図る。
森林整備	森林整備の準備作業	28,666,000	28,666,000	未整備森林の整備に向けた森林の現況調査や、境界の明確化、レーザー航測、林地台帳の更新を民間事業者へ委託した。
	合計	41,936,910	21,734,000	

■今後の実施計画

①竹資源循環創出推進事業

SDGsの推進に寄与すべく、産官学等で構成されている協議会にて、新たな循環システムの構築を目指して、市内の放置竹林整備の際に発生した、伐採した竹そのものを資源に変える事業を展開。

②森林経営管理制度に基づく森林整備の実施

市内の民有林約372haを11の区域に区切り、各区域において、順次、森林所有者意向調査、森林境界明確化、経営管理計画の策定、森林整備を実施し、森林の適切な維持管理を行う。